

月	時数	学習内容	評価規準				
			社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	
4 (9)	1	オリエンテーション					
	《地理》第2章 世界から見た日本の姿 2節 世界から見た日本の人口【2時間】						
	1	1 世界の人口分布と変化 (p.156~157) 増え続ける世界の人口 世界の人口問題		・写真や主題図を関連づけて世界の人口問題の地域的特色を見出すとともに、発展途上国における人口爆発や工業先進国における少子高齢化について説明している。	・人口ピラミッドを描き、グラフの形状を分類することで、各国の人口構成や将来予測から問題点を整理し、具体的な対策について説明している。		
	1	2 日本の人口と過疎・過密問題 (p.158~159) 人口構成の変化 人口分布の変化 過密問題と都市回帰現象 拡大する過疎地域		・写真やグラフなどの資料をいくつか関連づけて過疎地域や過密地域における課題を整理し、それぞれの地域の特色を生かした具体的な対策について説明している。		・日本の人口構成や人口分布について意欲的に学習し、日本は少子高齢化の進みが速いことに気づき、それがどのような課題をもたらしているのか理解している。	
	3節 世界から見た日本の資源・エネルギーと産業【5時間】						
	1	1 世界の資源・エネルギーと産業 (p.160~161) かたよる鉱産資源の分布 広がる自然エネルギーの活用	・世界のエネルギー消費量の主題図を見て、日本などの先進工業国がエネルギーの大量消費国であることを読み取り、地球温暖化の原因や対策について関心を高めている。	・世界の産業分布図などから先進工業国と発展途上国の産業構造の特色や変化を読み取っている。			
	1	2 日本の資源・エネルギーと環境問題 (p.162~163) 資源輸入大国 日本 日本の電力をめぐる問題 資源の活用と環境への配慮		・日本の資源・エネルギー問題について、再生可能エネルギーの利用やリサイクル、環境に配慮した技術開発など環境問題と関連づけて考察している。		・資源・エネルギー自給率のグラフや発電量の内訳を表したグラフから、資源の輸入に頼る日本の現状と資源確保の必要性を理解している。	
	1	3 日本の農林水産業 (p.164~165) 日本の農業の特色 農業がかかえる課題 日本の林業の特色と課題 日本の漁業の特色と課題		・農産物や水産物の輸入が急増したことによる食料自給率低下がもたらす問題について関心をもち、これからの日本の農業の在り方を具体的に考えている。 ・日本が世界有数の木材輸入国になっている現状を理解するとともに、日本の林業の課題を国土の保全や世界の森林の減少という環境問題と関連づけて考えている。			
	1	4 日本の工業 (p.166~167) 太平洋ベルトに集中する工業 国際化する日本の工業 日本の工業の新しい課題			・日本の工業地域の分布図や工業地域別生産額のグラフから、工業地域の分布の特色を読み取るとともに、工業地域の立地条件の変容について考察している。	・日本が国際競争の波にさらされ、外国製品にめぐる貿易上の対立に直面している現状に関心をもち、日本の企業がどのような対応をしているか理解している。	
	1	5 日本の商業・サービス業 (p.168~169) 多様化する日本の商業 成長が著しいサービス業	・情報サービス業や医療・福祉関係のサービス業、エコツーリズムに取り組む観光産業などが成長してきていることを理解し、日本のサービス業の将来に関心を高めている。	・第三次産業の就業者数やその県別割合、生産額の変化を表した資料などを読み取って、国内の産業構造の特色やその変化を考察している。			
4節 世界と日本の結びつき【2時間】							
5 (11)	1	1 グローバル化が進む世界 (p.172~173) 広がる世界の交通・通信網 活発化する国際貿易	・交通・通信網の発達は、人や物、サービスの移動を活発にさせることに気づき、日本と強く結び付いている国・地域とそうではない国・地域について意欲的に調べている。		・日本の貿易品目の構成や輸出入相手国を示すグラフを読み取り、日本の貿易構造が加工貿易から機械類などの生産物を相互に輸出入する貿易へと変化していることを理解している。		
	1	2 日本各地を結ぶ交通・通信 (p.174~175) 進む高速交通網の整備 情報通信網の発達と生活の変化 使い分けられる交通		・日本の高速交通網の変化を主題図などから読み取り、地域間の結び付きや地域の産業、人々の暮らしにさまざまな影響を与えることを考察している。	・交通・通信網の整備がもたらす長所と短所について、身近な生活場面と関連づけて考察したり、これからの交通・通信網の在り方を図表などにまとめたりしている。		
	2	まとめ					
《歴史》第4章 近世の日本【21時間】 【単元の目標】 ○織田・豊臣および江戸幕府の諸政策を通して新しい安定した社会が生まれ、その社会が長く続いたことを理解させる。 ○ヨーロッパ文化の伝来や東南アジア各地への日本人の渡航などの対外関係が活発な時期から、外国との交渉が限定された時期へと移っていったことを理解させる。 ○安定した社会が次第に変化し、行き詰まっていく原因について、社会の仕組みや経済の変化などから考えさせる。 ○産業や交通が著しく発達し、町人文化や各地方の生活文化が形成されていった様子を、今日に残る文化財や史料などから把握させ、文化的遺産を尊重する態度を育てる。							
1 導入 (p.97~99)							
1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一							
1	1	1 キリスト教世界とルネサンス (p.100~101) 中世ヨーロッパ ルネサンス 宗教改革				・イスラム教の広がりが、十字軍・ルネサンス・宗教改革など及ぼした影響のあらましを理解し、その知識を身	

1	2 ヨーロッパと外の世界 (p. 102~103) 大航海時代 ポルトガルとスペイン アメリカの植民地化 オランダの台頭		・ヨーロッパの世界進出がアメリカ大陸やアフリカ大陸に及ぼした影響について考察し、その過程や結果を説明している。	・「16世紀ごろの世界」から、スペイン・ポルトガルの世界進出や世界の一体化を読み取るなど、歴史地図を活用している。	につけている。
1	3 ヨーロッパ人との出会い (p. 104~105) 鉄砲の伝来 キリスト教の伝来と南蛮貿易 キリスト教の広まり		・鉄砲とキリスト教の伝来、南蛮貿易が日本の社会に及ぼした影響について、考察し、説明している。	・「南蛮人渡来図屏風」などの図版に描かれたものを読み取り、南蛮貿易やキリスト教の広がりについて活用している。	
1	4 織田信長・豊臣秀吉による統一事業 (p. 106~107) 織田信長の統一事業 豊臣秀吉の統一事業 宣教師の追放		・信長の経済政策が商業の発達にどのような影響を与えたかを考察し、説明している。		・信長と秀吉による統一事業の過程やその政策のあらましを理解し、その知識を身につけている。
1	5 兵農分離と朝鮮侵略 (p. 108~109) 検地と刀狩 海外貿易と朝鮮侵略		・兵農分離の政策によって社会の枠組みがどのように変化してきたかを、中世の社会と比較して考察し、説明している。	・朝鮮侵略の過程とその影響を資料から読み取っている。	
1	6 桃山文化 (p. 110~111) 豪華で壮大な文化 ヨーロッパ文化の影響		・桃山文化の特色を、生活に根ざした文化の広がりや武将・豪商の経済力、中世の文化の継承などの視点から考察し、適切に表現している。		・ヨーロッパ人の来航によって生まれた新しい文化について理解し、その知識を身につけている。

2節 江戸幕府の成立と鎖国

6 (12)	1 1 江戸幕府の成立と支配の仕組み (p. 112~113) 江戸幕府の成立 幕藩体制の確立 大名や朝廷の統制	・260年余りも続く平和な時代がどのようになつて生まれたのかに関心を持ち、意欲的に追究している。		・「主な大名の配置」から大名統制の方法を読み取るなど、歴史地図を活用している。	
1	2 ささまざまな身分と暮らし (p. 114~115) 武士と町人 村と百姓 厳しい身分による差別	・江戸時代に確立した身分制度の中での差別が近代や現代にも残っていくことに関心を持ち、差別を許さないという態度を身につけている。		・「身分別の人口の割合」「都市の農村の支配の仕組み」などから、江戸時代の身分とそれぞれの職分や自治の様子を調べてまとめている。	
1	3 貿易の振興から鎖国へ (p. 116~117) 朱印船貿易と日本町 禁教と貿易統制の強化 島原・天草一揆と鎖国		・江戸幕府が17世紀の前半に外交政策を変化させて「鎖国」した理由を、宗教の統制、外交と貿易の統制、大名の統制などから考察し、説明している。		・島原・天草一揆以後に幕府が採った対策とそれが人々の生活に与えた影響を理解し、その知識を身につけている。
1	4 鎖国下の対外関係 (p. 118~119) 中国とオランダ 朝鮮と琉球王国 アイヌ民族との交易	・アイヌの人々の生活に対する関心を高め、現在に残る文化を大切にしようとしている。		・鎖国下の日本と外国との対外関係について、白地図などに分かりやすくまとめている。	

3節 産業の発達と幕府政治の動き

1	1 農業や諸産業の発達 (p. 120~121) 農業の進歩 諸産業の発達	・江戸時代の産業の様子について関心を高め、身近な地域の郷土資料館などを利用して意欲的に調べている。	・諸産業が発達し、各地に特産物が見られるようになった理由を政治の安定などの既習事項と関連させて考察し、まとめている。		
1	2 交通路の整備と都市の繁栄 (p. 122~123) 交通路の整備 三都の繁栄		・江戸時代に交通や都市が発達した理由を、幕府や藩の政治の仕組み、物資の流通などから考察し、説明している。		・産業、交通の発達によって貨幣経済が進展し、財力をつけた町人の力が増していったことを理解し、その知識を身につけている。
1	3 幕府政治の安定と元禄文化 (p. 124~125) 綱吉の政治と正徳の治 元禄の学問と文化			・文学作品や「見返り美人図」などから、元禄文化の特色を読み取っている。	・綱吉の政治がそれまでの武断政治から文治政治へと転換したことを理解している。
1	4 享保の改革と社会の変化 (p. 126~127) 享保の改革 貨幣経済の広がり 百姓一揆と差別の強化			・「百姓一揆・打ちこわしの発生件数」から社会の様子と変化を説明できるなど、グラフを活用している。	・吉宗の政治改革について調べ、そのあらましを理解している。
1	5 田沼の政治と寛政の改革 (p. 128~129) 田沼の政治 寛政の改革 財政難に苦しむ諸藩		・田沼意次の政治と松平定信の政治を比較し、財政政策の違いなどについて考察し、説明している。		・「北方探検」を基に、蝦夷や樺太の探検が行われたことを知り、幕府の対外関係の在り方を理解している。
1	6 新しい学問と化政文化 (p. 130~131) 国学と蘭学 化政文化 教育の広がり		・国学と蘭学の発達や化政文化の特色について調べ、新しい学問や文化が生まれた背景を考察し、説明している。	・「藩校と寺子屋の広がり」を基に全国に教育施設が造られていったことを読み取っている。	
1	7 外国船の出現と天保の改革 (p. 132~133) 異国船打払令と天保の乱 天保の改革 雄藩の成長		・大塩平八郎が乱を起こした理由や天保の改革の内容を調べ、幕府政治が行き詰まっていたことについて考察し、その過程や結果を説明している。		・外国船の接近とそれに対する幕府の対応について調べ、幕府に新たな課題が生じたことを理解し、その知識を身につけている。
1	「深めよう」歴史の中のイスラム文化 (p. 136) 「深めよう」江戸のエコ社会 (p. 138)				

7 (9)	2 まとめ 《地理》第3章 日本の諸地域 【単元の目標】 ○日本の諸地域の地域的特色を捉えるとともに、そこで学んだことを基にして広い視野から日本全体の地域的特色に気づかせる。 ○地域的特色ある事象を、他の事象と関連づけて考察することを通して、地理的な見方や考え方を育む。				
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--

7節 北海道地方 一雄大な自然とともに生きる人々の暮らしー【5時間】

1	北海道地方をながめて① 北海道地方の生活の舞台 (p. 251~253)			・地形図などを通して、北海道地方が南北に走	・北海道地方の地図や雨温図、海流の流れを
---	--------------------------------------	--	--	-----------------------	----------------------

	南北に走る山と平野 冷涼・寒冷な気候			る山と平野を中心として 大きな面積を有して いることを読み取って いる。	示した資料を通して、 北海道地方の気候が冷 涼であることを理解し ている。
1	2 北海道地方をながめて② 北海道地方の人々の営み (p.254~255) 札幌市に集中する人口 地域の資源を生かした産業 先住民と開拓	・北海道地方の自然環境に関心を持ち、自然環境と人々の生活との関わりについて意欲的に追求している。			・北海道地方で行われている農林水産業や観光業は、地域の自然を生かして発展してきたことを理解している。
1	3 雄大な自然とともに生きる人々の暮らし① 自然の制約に適応する人々の工夫 (p.256~257) 寒さに対応した生活 自然災害に備える 海のめぐみに支えられる			・冬の寒さや火山活動による厳しい自然環境に対して人々がどのような工夫を行っているのかを写真資料などから適切に読み取っている。	・北海道地方では、冬の寒さや火山、豊かな海を利用した産業が行われていることを理解している。
1	4 雄大な自然とともに生きる人々の暮らし② 自然の制約や社会の変化を乗り越える (p.258~259) 拡大する稲作 大規模化する畑作と酪農 製品の価格と品質競争		・現在北海道の人々が直面している課題に対して、どのように対応すべきかを多面的・多角的に考察している。		・気候や土壌の問題に対して人々がどのように対応し、乗り越えて農業を営んできたか理解している。
1	5 雄大な自然とともに生きる人々の暮らし③ 自然の特色を生かした観光産業 (p.260) 世界と結び付いた観光産業 自然と共存する観光産業 ■ 北海道地方の学習をふり返ろう (p.261)		・北海道地方への観光客が、なぜ8月に多いのか、また、なぜ厳しい冬でも観光客をひきつけているのか、多面的・多角的に考察している。	・自然と共存する北海道地方の地域的特色について、自分なりに工夫して、地図や図表に適切に表している。	・
1節 九州地方 一環境問題・環境保全に向き合う人々の暮らしー【5時間】					
1	1 九州地方をながめて① 九州地方の生活の舞台 (p.179~181) 火山活動に由来する地形 温暖で多雨の気候	・九州地方の自然災害や、災害報道に関心を持っている。			・地図や雨温図を通して、九州地方の自然環境の特徴を捉えている。
1	2 九州地方をながめて② 九州地方の人々の営み (p.182~183) 結び付きが強まる九州各県 気候と地形に応じた農業 転換を求められた鉱工業	・九州地方の自然災害や公害について意欲的に追究している。		・九州地方の人口と産業の地域的な違いを、地図を使って読み取っている。	
1	3 環境問題・環境保全に向き合う人々の暮らし① 多様な環境問題と環境保全の取り組み (p.184~185) 豪雨がもたらす土砂くずれと水害 豪雨と開発がもたらす赤土被害		・自然災害や環境問題を、自然環境の原因と対策を多面的・多角的に考察し、その共通点を捉えている。		・環境保全のために、砂防ダムの建設や土壌流出を防ぐ工夫がなされていることを理解している。
8 (3)	1 4 環境問題・環境保全に向き合う人々の暮らし② 工業化・都市化にともなう地域への影響 (p.186~187) 工業化がもたらす地域の課題 安全、快適な都市づくり	・水俣市や福岡市の環境保全の取り組みを通して、身近な地域の環境保全の取り組みに関心を持っている。	・水俣市と福岡市の環境問題の原因と対策を多面的・多角的に考察し、その共通点を捉えている。		
1	5 環境問題・環境保全に向き合う人々の暮らし③ 持続可能な社会を創る (p.188) 鉄鋼都市から環境都市へ 環境と開発の両立 ■ 九州地方の学習をふり返ろう (p.189)		・九州地方の地域的特色について、環境問題や環境保全を踏まえて、自分なりに工夫して、図に適切に表している。	・昔の写真と現在の写真を比較して、環境が大きく改善したことを捉えている。	
2節 中国・四国地方 一都市と農村の変化と人々の暮らしー【5時間】					
1	1 中国・四国地方をながめて① 中国・四国地方の生活の舞台 (p.191~193) 自然環境の異なる三つの地域 二つの山地にはさまれた瀬戸内			・山陰、瀬戸内、南四国の三つの地域の自然の特色を、地図や雨温図から読み取っている。	・瀬戸内地方の特色を、海上交通路としての役割と降水量が少ないことによる工夫から理解している。
9 (12)	1 2 中国・四国地方をながめて② 中国・四国地方の人々の営み (p.194~195) 瀬戸内地方に集まる人口 重化学工業が中心の工業地域 自然環境を生かした農業、漁業	・中国・四国地方の都市と農村の変化について意欲的に追究している。			・中国・四国地方では人口が瀬戸内地方に集まっていること、各地の農業や漁業を自然環境と関連づけて理解している。
1	3 都市と農村の変化と人々の暮らし① 都市の役割とその課題 (p.196~197) 地方中枢都市 広島 都市の再開発	・広島市などの過密問題を、身近な地域と比較するなどして、関心を持っている。	・広島市の特色を、地方中枢都市としての特徴を踏まえて表現している。		
1	4 都市と農村の変化と人々の暮らし② 高齢化が進む農村と町おこし (p.198~199) 地域の高齢化 さまざまな町おこし		・過疎対策について、地域の自然環境や人々の生活、産業などに関連づけて自分なりに考えている。	・過疎地域とその高齢化を、人口の変化の図や人口ピラミッドから読み取っている。	
1	5 都市と農村の変化と人々の暮らし③ 交通網の発展による地域の変化 (p.200) 地方の中のつながり 地方をこえたつながり ■ 中国・四国地方の学習をふり返ろう (p.201)	・交通網の発展による地域の変化について、地域にとっての利点と問題点の両面から考えている。	・中国・四国地方の地域的特色について、都市と農村の変化を踏まえて、地図などに適切に表している。		
3節 近畿地方 一歴史の中で形作られてきた人々の暮らしー【5時間】					
1	1 近畿地方をながめて① 近畿地方の生活の舞台 (p.203~205) 三つの地域で異なる自然 自然災害への備え			・近畿地方の自然環境の地域による違いを、中国・四国地方で学習したことを生かして、地図や雨温図を使って捉えている。	・近畿地方の自然環境の特色について、地図などを使って、その特徴的な地形などを捉えている。
1	2 近畿地方をながめて② 近畿地方の人々の営み (p.206~207) 大都市圏の形成 大都市を中心とした産業 今に生きる伝統工芸	・近畿地方の歴史的背景について意欲的に追究している。			・近畿地方が歴史的な先進地域で、それが地域の都市や産業に関連していることを捉えている。
1	3 歴史の中で形作られてきた人々の暮らし① 古都の成り立ちと現在 (p.208~209) 貴族と寺社が造った都 世界の人々を呼び寄せる観光地	・京都・奈良に残っている伝統的な文化や歴史的な景観の保存の意義と課題に関心を持っている。	・京都・奈良に世界から観光客が来る理由を、その歴史的背景から捉えている。		

	1	4 歴史の中で形作られてきた人々の暮らし② 都市と郊外の成り立ち (p. 210～211) 流通の拠点となった商業都市 私鉄に沿って広がった郊外	・地名には歴史的な由来があることに興味を持っている。	・大阪市が江戸時代から商業都市として発展し、私鉄によって大都会圏の形成が進んだことを捉えている。			
	1	5 歴史の中で形作られてきた人々の暮らし③ 現代に開発されたニュータウン (p. 212) 山を切り開き 海をうめ立てる 時代の要請と現代の課題 ■ 近畿地方の学習をふり返ろう (p. 213)		・近畿地方の地域的特色について、その歴史的背景に着目して、自分なりに工夫して、表などに適切に表している。	・神戸市などで大規模な開発が行われてきたこととその課題を、地図や写真を使って読み取っている。		
	1	深めよう 北海道・九州・中国・四国、近畿から1つ					
	4節 中部地方 ―活発な産業を支える人々の暮らし― 【5時間】						
	1	1 中部地方をながめて① 中部地方の生活の舞台 (p. 215～217) 「日本の屋根」 三つの気候			・中部地方の自然環境の特色と、東海、北陸、中央高地の気候的な違いを、地図や雨温図を使って読み取っている。	・中部地方の地域による気候の違いを、地形などと関連づけて理解している。	
	1	2 中部地方をながめて② 中部地方の人々の営み (p. 218～219) 平野、盆地に集中する人口 盛んな工業、農業、観光産業 今に残る歴史的な町並み	・中部地方の産業について意欲的に追究している。			・中部地方の人口分布や産業の地域による違いを、地形や気候などから捉えている。	
10 (10)	1	3 活発な産業を支える人々の暮らし① 工業の発展と地域の変化 (p. 220～221) 東海の工業 変容する工業地域 雪国で育った伝統産業		・東海と北陸の工業の特色を、自然的条件や社会的条件と関連づけて多面的に考察して捉えている。 ・中部地方の地場産業の課題に対して多面的・多角的に考察し、その変容を捉えている。			
	1	4 活発な産業を支える人々の暮らし② 自然環境を生かした各地の農業 (p. 222～223) 盆地と高原の農業―中央高地 人々が築いた産地―東海 日本の米所―北陸			・写真や出荷量のグラフから農業の特色と各農家の工夫と努力を読み取っている。 ・中央高地、東海、北陸各地域の農業の特色を、自然の特色や交通の発達などを示す資料と関連づけて読み取っている。		
	1	5 活発な産業を支える人々の暮らし③ 世界と結びつく中部地方 (p. 224) 名古屋大都市圏と世界との結びつき 日本海を舞台に活性化する北陸 ■ 中部地方の学習をふり返ろう (p. 225)			・中部地方の地域的特色について、その産業に着目して、自分なりに工夫して、地図や図表に適切に表している。	・名古屋大都市圏と北陸の世界との結びつきを、地域的特色と関連づけて理解している。	
	5節 関東地方 ―さまざまな地域と結びつく人々の暮らし― 【5時間】						
	1	1 関東地方をながめて① 関東地方の生活の舞台 (p. 227～229) 平野が広い面積をしめる地方 太平洋側の気候			・資料を基に都市化の進展に伴う気候への影響を的確に読み取っている。	・雨温図や地形図などの資料から、関東地方は、平野が広く、太平洋側の気候であることを捉えている。	
	1	2 関東地方をながめて② 関東地方の人々の営み (p. 230～231) 高い人口密度と放射状の交通網 盛んな産業活動	・関東地方と他地域との結びつきについて意欲的に追究している。		・分布図やグラフなどを使って、人口や産業の特色などと関係付けて読み取っている。		
	1	3 さまざまな地域と結びつく人々の暮らし① 首都・東京と各地との結びつき (p. 232～233) さまざまな機能が集まる東京 通勤・通学圏と都市機能の分散		・東京の都心部と郊外の関係を、通勤・通学と、都市機能の分散の両面などから、多面的・多角的に考察できている。		・東京に人口が集中している理由を、政治的中枢機能が集中していることに着目して理解している。	
	1	4 さまざまな地域と結びつく人々の暮らし② 各地との結びつきで成り立つ産業と生活 (p. 234～235) 東京湾岸と北関東の工業地域 各地に広がる農業地域 充実した観光地	・関東地方の農業地域や観光地が、関東地方で果たしている役割に関心を持っている。			・関東地方の農業や工業の特色とその変容について、東京と周辺地域との結びつきや人口分布の変化などに着目して捉えている。	
	1	5 さまざまな地域と結びつく人々の暮らし③ 世界への窓口・日本の中心 (p. 236) 世界への窓口としての関東地方 日本の中心としての関東地方 ■ 関東地方の学習をふり返ろう (p. 237)		・地図や統計資料から、関東地方が日本にとってどのような地域であるか、多面的・多角的に考察している。	・関東地方の地域的特色について、日本各地や世界との結びつきに着目して、自分なりに工夫して、地図や図表に適切に表している。		
	6節 東北地方 ―伝統的な生活・文化や、災害からの教訓を受けつぐ人々の暮らし― 【5時間】						
	1	1 東北地方をながめて① 東北地方の生活の舞台 (p. 239～241) 三つの山地が造る地形 東と西で異なる気候			・東北地方の太平洋側と日本海側の気候の違いを、地形図や雨温図、「地形と風の様子」等の資料から読み取り、適切に表現している。	・東北地方の地形の特色を、三つの山地を中心に川や平地、海岸線との関係から捉え、理解している。	
	1	2 東北地方をながめて② 東北地方の人々の営み (p. 242～243) 都市に集中する人口 さまざまな産業と地域の復興	・東北地方の「生活・文化」について関心を持ち、これらを意欲的に追究しようとしている。		・東北地方の産業の特色を、自然環境を生かした農林水産業が伝統的に盛んであることや、交通網の発達とともに工業も盛んになり、人口分布にも影響を及ぼしていることなどを、さまざまな資料から読み取っている。		
11 (12)	1	3 伝統的な生活・文化や、災害からの教訓を受けつぐ人々の暮らし① 祭りや芸能、年中行事の伝統とその始まり (p. 244～245) いましめと祝いの民俗行事 農家の生活と結び付いた夏祭り	・祭りをはじめとする独自の民俗行事や習慣を示す写真資料等を通して、東北地方の生活・文化に関心を持ち、意欲的に追究してい			・伝統行事や食文化、習慣と、農業や気候との関連を通して、東北地方の地域的特色を捉えている。	

	気候に応じた食文化				
1	4 伝統的な生活・文化や、災害からの教訓を受けつぐ人々の暮らし② 伝統を生かし、生まれ変わる伝統産業 (p.246~247) 地域の資源と結び付いた伝統工芸社会の変化と結び付いたものづくり		・なぜ東北地方では新しい産業への転換が進んでいるのか、地図やグラフなどから読み取り、多面的・多角的に考察している。		・東北地方の伝統産業の課題を、後継者不足、国際化等の現実的な問題を通して理解している。
1	5 伝統的な生活・文化や、災害からの教訓を受けつぐ人々の暮らし③ 過去からの継承と未来に向けた社会づくり (p.248) 教訓を伝える 教訓を継承する ■ 東北地方の学習をふり返ろう (p.249)		・石碑や伝承等を通して、人々がどのような思いで災害の教訓を受け継ぎ、未来へ向けて生かそうとしてきたのか、多面的・多角的に考察している。	・東北地方の地域的特色を、生活・文化に着目して、地図や図表に適切に表現している。	
1	深めよう 中部、関東、東北から1つ				
2	まとめ				
《地理》第4章 身近な地域の調査【8時間】					
【単元の目標】 ○縮尺の大きな地図や写真などを活用して土地利用、地形などを読み取り、身近な地域で見られるさまざまな地理的事象に気づかせる。 ○身近な地域に関する情報を収集し、それを基に調査テーマを設定する活動に意欲的に取り組ませるとともに、適切な調査テーマを設定できるようにさせる。 ○調査を通して、身近な地域の地域的特色を捉える視点や地域調査の方法、地理的なまとめ方や発表の方法を身につけさせる。 ○身近な地域の特徴を、地域の自然環境や他地域との結び付き、人々の営みとの関わりに着目して捉えさせるとともに、地域の課題を見いだし、これからの発展について関心を持たせる。					
1	1 身近な地域を見直そう (p.266~267) 身近な地域の情報を集めよう	・身近な地域の地理的事象や調査への関心が高まり、意欲的に情報を収集している。		・縮尺の大きな地図やさまざまな写真を活用し、土地利用、地形、地域変化などを読み取っている。	
2	2 テーマを決めて調査計画を立てよう (p.270~271) 調査するテーマを話し合おう 仮説を立ててみよう 調査計画を立てよう	・調査テーマを設定する活動に意欲的に取り組んでいる。	・身近な地域で見られる地理的事象を基にして、適切な調査テーマを設定し、仮説を立て、調査結果の見通しや調査計画を立てている。		
1	3 さまざまな調査方法① 野外観察や聞き取り調査をしよう (p.272~273) 野外観察をしよう 聞き取り調査をしよう		・野外観察や聞き取り調査から、地域の特徴や課題を見いだししている。	・ルートマップや聞き取り調査票の事前準備、調査中のスケッチやメモなど地域調査の方法を身につけている。	
1	4 さまざまな調査方法② 資料を調べて調査を深めよう (p.274~277) 資料を調べて深めよう 地域の変化や課題をとらえよう			・野外調査で調べたことを踏まえ、さまざまな資料を収集し、適切に選択して調査テーマを追究している。	
1 2 (9)	2 5 調査結果をまとめ、地域を見直そう (p.278~279) 分かったことをまとめてみよう 地域を見直そう			・調査結果を検証し、考察したことを整理して、地図や図表などに適切にまとめている。	・身近な地域の特徴や課題を、地域の自然環境や他地域との結び付き、人々の営みとの関わりから理解し、それらの知識を身につけている。
1	6 発表会をして地域の将来像を考えよう (p.280~281) 分かりやすい発表をしよう 発表会で学び合おう	・他のグループの発表を聞いたり、意見交換をしたりすることで、身近な地域の特徴や課題、地域のこれからの発展について考えようとしている。		・自分たちのグループが設定した調査テーマについて、その調査結果や考察した内容を分かりやすくまとめている。	
《歴史》第5章 開国と近代日本の歩み【25時間】					
【単元の目標】 ○欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。 ○明治新政府による改革の特色を考えさせ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ○立憲制国家が成立して議会政治が始まり、日本の国際的地位が向上したことを理解させる。 ○日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解させる。					
1	導入 (p.141~143)				
1 節 欧米の進出と日本の開国					
2	1 近代革命の時代 (p.144~147) ヨーロッパの動向 イギリスの革命 アメリカ合衆国の独立 啓蒙思想 フランスの絶対王政 フランス革命	・欧米諸国の近代化への成立の様子に興味を持っている。			・欧米諸国が近代革命を経て近代国家を形成していった過程を理解し、その知識を身につけている。
1	2 産業革命と19世紀のヨーロッパ (p.148~149) 産業革命 資本主義と社会主義 19世紀のイギリスとドイツ		・産業革命を経て、産業や社会の仕組みが大きく変化したことを多面的・多角的に考察し、適切に表現している。		・革命の時代を経て、近代国家を確立する動きがヨーロッパ諸国に広がっていく過程を理解し、その知識を身につけている。
1	3 ロシアとアメリカの発展 (p.150~151) ロシアの拡大 アメリカ合衆国の成長		・アメリカ合衆国成長の一方で、先住民の強制移住や黒人への人種差別などの問題があったことを多面的・多角的に考察し、適切に表現している。		・ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し、発展していく過程を理解し、その知識を身につけている。
1	4 ヨーロッパのアジア侵略 (p.152~153) ヨーロッパとアジアの力関係 アヘン戦争と中国の半植民地化 インドの植民地化		・ヨーロッパ諸国のアジア侵略について、その理由や背景を考察し、表現している。	・ヨーロッパのアジア侵略に対するアジア諸国の対応を、グラフや地図から読み取り、年表にまとめている。	
1	5 開国と不平等条約 (p.154~155) ペリーの来航 不平等な通商条約		・ペリー来航から日米修好通商条約の締結に至る過程を調べ、適切に表現している。		・条約の内容や不平等な点を理解し、その知識を身につけている。
1 (5)	6 尊王攘夷運動と開国の影響 (p.156~157) 尊王攘夷運動の高まり 開国の経済的影響 世直し一揆とええじゃないか		・尊王攘夷運動の高まりや開国の影響を調べ、開国によって日本が資本主義社会へ組み込まれていったことを		・開国の経済的影響を人々の生活との関わりから理解し、その知識を身につけている。

			考察し、適切に表現している。		
1	7 江戸幕府の滅亡 (p. 158~159) 倒幕への動き 大政奉還と王政復古		・開国の影響とその後の幕府政治の推移について、政治面・社会面から考察し、公正に判断し表現している。	・開国の影響とその後の幕府政治の推移について、資料を収集し、読み取ったりまとめている。	
2節 明治維新					
1	1 新政府の成立 (p. 160~161) 明治維新 藩から県へ 身分制度の廃止	・明治維新の経緯に対する関心を高め、意欲的に追究している。			・新政府ができ、中央集権国家の体制が確立していったことを理解し、その知識を身につけている。
1	2 明治維新の三大改革 (p. 162~163) 三大改革 学制の公布 徴兵令 地租改正		・新政府が行った学制・兵制・税制の改革を、江戸時代と比較しながら、さまざまな立場から考察し、公正に判断し表現している。		・学制・兵制・税制の改革の内容を理解し、その知識を身につけている。
1	3 富国強兵と文明開化 (p. 164~165) 富国強兵 殖産興業政策 文明開化 新しい思想	・文化の面で、新政府が目指した近代化政策に関心をもち、意欲的に追究している。	・新政府が行った富国強兵・殖産興業政策をさまざまな立場から考察し、公正に判断し表現している。	・文明開化など欧米文化の流入によって、人々の生活が大きく変化したことを江戸時代と比較しながらまとめている。	・近代的な産業発展のため政府が進めた富国強兵・殖産興業政策の内容を理解し、その知識を身につけている。
2 (9)	1 4 近代的な国際関係 (p. 166~167) ぶつかる二つの国際関係 岩倉使節団 清や朝鮮との関係		・新政府が行った外交政策について、欧米諸国やアジア諸国の視点から考察し、公正に判断し表現している。		・新政府が行った岩倉使節団派遣や清や朝鮮への外交政策を理解し、その知識を身につけている。
1	5 国境と領土の確定 (p. 168~169) 国境と領土の確定 北海道の開拓とアイヌの人々 沖縄県の設置と琉球の人々		・同化政策の問題点について考察し、公正に判断し表現している。	・国境と領土の確定について、竹島や尖閣諸島などを地図を使ってまとめている。	・国境と領土の確定について、北海道や沖縄などに対して新政府が行った外交政策を理解し、その知識を身につけている。
1	6 自由民権運動の高まり (p. 170~171) 自由民権運動と土族の反乱 高まる自由民権運動 国会の開設をめぐる対立		・自由民権運動から憲法制定に至るまでの時期について、民権側と政府側の立場からそれぞれの主張を考察している。		・自由民権運動の興りや全国的な広まりの過程を理解し、その知識を身につけている。
1	7 立憲制国家の成立 (p. 172~173) 憲法の準備 立憲制国家の成立 帝国議会の開設			・政府中心の憲法制定過程、選挙制度について資料から読み取ったりまとめている。	・アジアで最初の立憲制国家が成立したことや全国的な広まりの過程や近代国家の基礎が整えられたことを理解し、その知識を身につけている。
3節 日清・日露戦争と近代産業					
1	1 欧米列強の侵略と条約改正 (p. 174~175) 列強と帝国主義 条約改正の実現 東アジアの情勢	・条約改正に至るまでの過程について、人々の努力があったことや国際情勢と関連させながら関心を持って意欲的に追究している。			・日清戦争に至るまでの背景としての欧米諸国の植民地獲得競争に気づき、東アジアの情勢を理解し、その知識を身につけている。
1	2 日清戦争 (p. 176~177) 日清戦争 三国干渉と加速する中国侵略 日清戦争後の日本			・日清戦争から三国干渉までの経過を年表にまとめている。	・日清戦争の原因と結果、その後の国内外の情勢を理解し、その知識を身につけている。
1	3 日露戦争 (p. 178~179) 義和団事件 日露戦争 日露戦争後の日本		・日露戦争について、国際関係での日本の立場の面と、国内の反応の面から考察し、表現している。	・日本を取り巻く、当時の国際関係について、資料から読み取った結果をまとめている。	
1	4 韓国と中国 (p. 180~181) 韓国の植民地化 満鉄の設立 中華民国の成立		・韓国の植民地化の動きを、抵抗運動、土地問題、教育の面から多面的・多角的に考察し、表現している。		・韓国の植民地化の進展や中国国内の様子を理解し、その知識を身につけている。
1	5 産業革命の進展 (p. 182~183) 産業の発展 交通の発達 資本家と労働者 地主と小作人	・産業革命で人々の生活が変化したことに関心を持つとともに、労働問題や社会問題が発生している点にも気づき、意欲的に追究している。		・鉄道の広がりや産業の発展を、地図やグラフを使って調べ、まとめている。	
3 (4)	1 6 近代文化の形成 (p. 184~185) 日本の美と欧米の美 新しい文章 学校教育の普及	・明治時代の文化について関心をもち、その内容や人々の業績を意欲的に追究している。			・近代文化が形成されたことを、学問・教育・科学・芸術の発展を通して理解し、その知識を身につけている。
1	「深めよう」「解放令」から水平社へ (p. 190) 「深めよう」足尾銅山と田中正造 (p. 192)				
2	まとめ				